

古川なおき 第104号 レポート



自由民主党横浜市議員 古川なおきの政務調査報告

一月刊 2011年5月15日



自家用車も泥に埋まっていた（仙台市）



汚泥のかきだし作業（仙台市）



津波で家屋が流された地区（いわき市）

震災後の活動報告

皆様お元気ですか！

駅頭でのごぶさたをお詫び申し上げます。

4月の選挙に当選させていただき、5月から新たな任期がスタートしました。選挙後、自民党の若手議員有志で友人の議員が住んでいる仙台市宮城野区に行き、被災した家で泥掻きをしました。また、最初の選挙の時に学生ボランティアをしてくれた後輩が福島県いわき市の職員として地元の復旧作業をしているので、現地に行き被災状況を視察してまいりました。いわき市は福島第一原子力発電所からも近く、地震と津波の被害だけでなく、放射性物質など原発事故による影響とも戦っています。現地では、テレビや新聞では実感できない空気や汚泥の悪臭などを体験し、大地震や津波の恐ろしさを再認識しました。あらためて、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

流された家の跡や瓦礫の山、街の至る所に無惨に転がっている車を見て、人間の無力さを思い知らされました。しかし、どんな逆境でも立ち直る勇気を人間は持っているとは信じています。横浜市も消防隊をはじめ延べ1500人以上の職員を被災地へ派遣しています。私はたった2日間だけの作業でしたが、長期で滞在している横浜市の職員は本当によくがんばってくれていると思います。特にあの福島原発で、高濃度の放射能の中、放水作業を果敢に行った本市の消防隊を誇りに思います。あまり報道されませんが、泥まみれになって捜索作業を行っている自衛隊、信号が使えない交差点で交通整理をしている警察官の方々を現地で見て、災害時における自衛隊や警察官の重要性も再認識しました。

一方、横浜市に避難されておられる方も100人以上になり、旭区でも地元社会福祉協議会や区役所が中心になり対応しています。毛布を募集したところ予想以上に集まり

過ぎてしまったそうです。選挙期間中は駅で演説していると募金活動に間違えられ、何人の方がお財布からお金を取り出されました。旭区には心のやさしい方が多くお住まいです。

今回の大震災では、帰宅困難者への対応、食料や水などの備蓄、家屋の耐震対策、緊急時の通信手段、放射性物質や停電対策など様々な課題が浮き彫りになりました。今後の震災対策について、先日の本会議で市長から説明がありましたので、裏面で概略をご報告させていただきます。私も放射性物質の測定器を早期に購入することや、水や大気の測定をしっかりと行い、今後も正確な情報を迅速に報告するよう要望しました。

夏の電力不足への対応にも取り組まなければなりません。一部公共施設が輪番休館になり、申し訳なく思います。自治会の回覧などで周知しているところですが、ご理解とご協力をお願いいたします。

福島の原発事故による放射性物質や夏の電力不足など、懸念することもあります。平常を取り戻し、過剰に反応することなく生活することが大切だと思います。私も初心忘れることなく、気を引き締めて、今任期も活動させていただきます。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。最後になりましたが、皆様のますますのご健勝、被災地の復興を心よりお祈りいたします。

横浜市議員 古川なおき

※当選御礼のご挨拶は公職選挙法で禁止されています。ご理解を賜りますようお願いいたします。

被災者支援サイトToksy(トクシー)のご紹介

Toksy(トクシー)は東日本大震災の被災者を支援する為のサービスです。Toksyを使えば誰でも乾電池一本から個人間で被災地に支援物資を送る事が出来ます。http://www.toksy.jp/ パソコン、携帯で利用できます。関心のある方は、ぜひ一度ご覧下さい。

プロフィール 古川なおき

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修了
横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書
平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)
現在 平成23年 市会運営委員会 委員長 / 水道・交通委員会
自民党横浜市議員団所属/横浜市会 F Cキャプテン
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会 評議員
旭区サッカー協会顧問/旭区スポーツダンス協会顧問
旭区卓球協会顧問



みんなで健康増進！& 市政について気軽に語り合いませんか？
政務調査活動の一環として「市民の皆様のご意見を」直接うかがう

朝ウォーキング

日時：6月18日(土)朝7～8時半
集合場所：こども自然公園(大池公園)正門入口



★参加される方は、
当日直接、集合場所に
お集まりください。

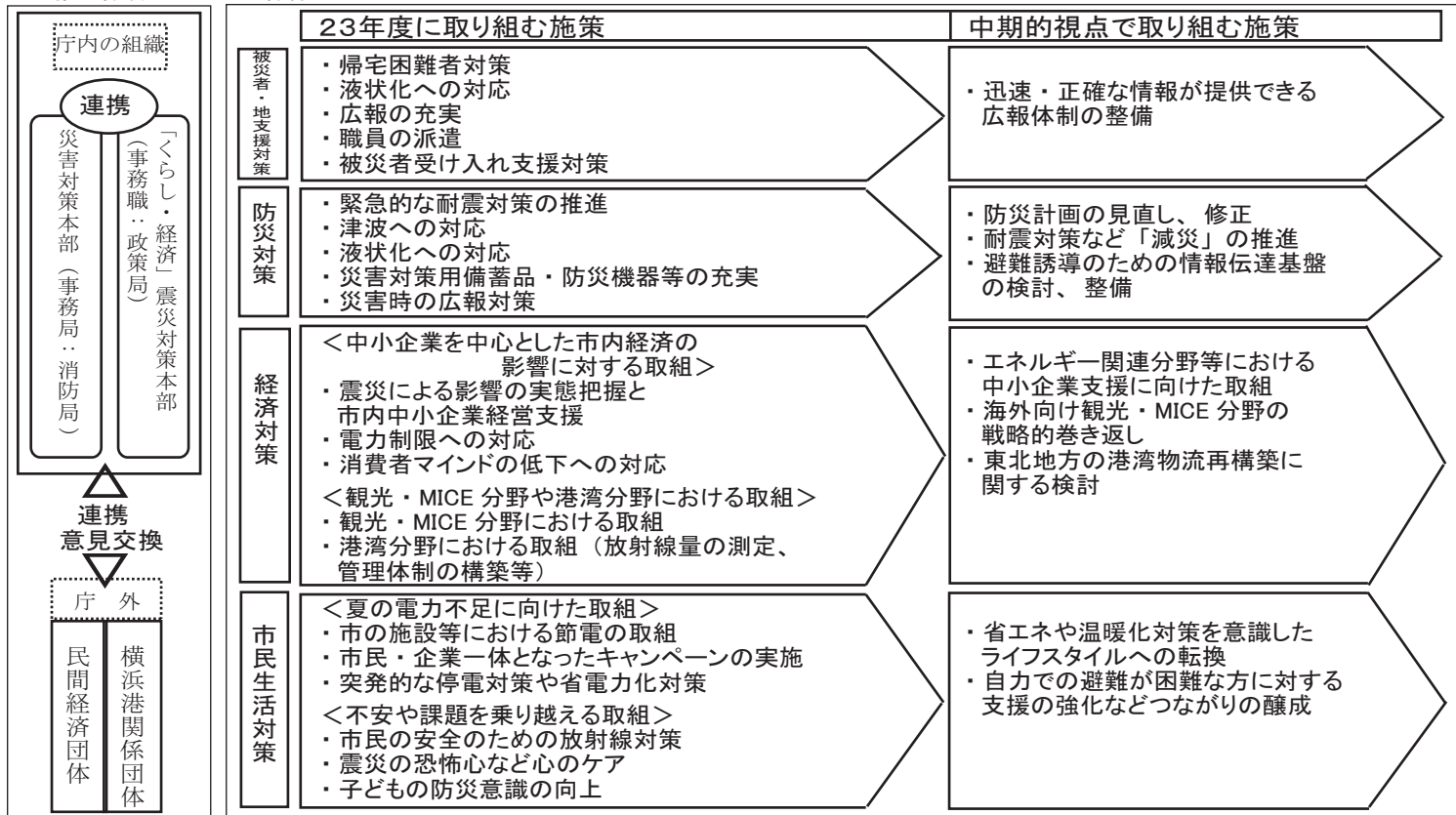
横浜市の総合的な震災対策の考え方

<ポイント>「防災対策の強化」「横浜経済の安定」「市民生活の安心の確保」の3つのポイントから、①被災者・地支援対策、②防災対策、③経済対策、④市民生活対策、の4つの分野で推進していきます。

<財源について>特に緊急性の高い施策は22年度補正予算及び23年度補正予算の「災害対策予備費」等に対応し、さらにスピード感を要する施策には5月補正予算で対応します。今後は各施策の検討を行い、国の動向を踏まえながら、切れ目なく震災対策を進めていきます。事務事業の見直しや不急事業の先送り、厳しい優先順位付けを行うほか、実施不可欠な事業も執行方法を工夫する等、経費の縮減を行い、震災対策の財源としていきます。

<推進体制>

<全体像>



市内の放射線量の測定について

副市長のコメントとともに、「市内の放射線量の測定について」市会に資料提供がありました。

「市内の放射線量の測定についてですが、大気については、概ね、福島原子力発電所の事故前の水準となっており、また、食材については暫定基準値を超えるものについては出荷されておらず、水道水についても不検出が続いていることから、横浜市内は基本的に安全と考えているところです。一方、この間、放射線に関する市民の方々の不安については、今できることは何か、更なる安心を確保する対策について検討してまいりました。今般、さまざまなご意見を踏まえ、安全な横浜にあっても、より市民の安心を確保するため、下記の通り放射線量を計測することとしましたので、よろしくご理解賜りますようお願い申し上げます。」【大場茂美副市長】

1 測定対象について

①地表近くの大気（空間線量）

- ・測定の高さ…地表から50cm又は1mの地点の空気中のγ線を測定。
- ・測定場所…各区ごとに、毎月小・中学校4か所程度、保育園2か所程度を目途とし、公園は、毎月市内2か所を測定し公表します。
- ・実施開始時期…6月のできるだけ早い時期から測定を実施します。
- ・大気中の放射線測定のモニタリングポストについては環境科学研究所、都筑区役所、南部公園緑地事務所の3か所で高さ50cm、1mの地点の測定を3か月程度実施します。

②小学校における給食材料

- ・食材について…産地において汚染状態を計測されており安全ですが、一層の安心を確保するため、中央卸売市場や南部市場等で計測（サンプル調査）を行うこととしています。
- ・小学校の給食材料についても、サンプル調査を行います。

2 実施体制について…「放射線対策部」を災害対策本部の中に設置します。

担当：消防局危機管理課、消防局警防課、健康福祉局食品衛生課、教育委員会事務局健康教育課、子ども青少年局保育運営課、環境創造局環境管理課

東日本大震災に伴う本市の主な対応

1. 被災地への支援状況（5/22 現在）

- ・主な人的支援…消防局493名、応援職員派遣隊365名、資源循環局367名、健康福祉局200名、水道局108名、環境創造局43名、のべ1711名の職員を派遣。
- ・主な物資支援…毛布 11500 枚、トイレパック 80000 個、水缶 2600ケース、はまっごどうし 1696 箱、マスク35000 枚、消毒用アルコール 280ℓ、仮設トイレ 100 基、ポンプ式消毒薬 300 個、トレットペーパー300ロール、リサイクル自転車 204 台
- ・その他、市民からの募金を活用し食品等を約 1200 万円分を提供。

2. 被災者の支援

- ・被災者の方の一時避難所2か所に計19名が入所。（6/1）
- ・被災者の方が横浜市営ひかりが丘住宅50戸に入居済。（5/25）
- ・大震災に伴う電話による相談窓口…相談件数 5173 件（5/11）
- ・原発事故に伴う放射能に関する健康・食品相談窓口…相談件数 958 件（5/11）

3. その他・・・市長による仙台市への激励訪問（4/3）

4. 横浜市東北地方太平洋沖地震募金 ありがとうございます！

…約4億円が口座に入金されています（5/20）
口座は、「横浜銀行横浜市庁支店普通 6007302」
募集期間は9/15までに延長します



お気軽にご連絡ください。

FAX: 045-366-9700 / TEL: 391-4000

E-Mail: naoki@fukurukawa2002.com

みなさまのご意見をお待ちしています!

古川なおき政務調査 事務所

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50

URL: <http://www.fukurukawa2002.com>

